

4月7日に入学式が挙行され、240名の新入生を迎え、生徒在籍数は791名となりました。毎朝、生徒昇降口で生徒とあいさつを交わしています。元気のよいあいさつが生徒から返ってきています。本年度も順調なスタートが切れたと思っています。

「文武両道」の教育理念の下、充実した教育活動をとおして、進路実現のために最も最初で、最も大切な「…になりたい」と「思う」一人一人の大切な種を育んでいきたいと思っています。

敷地内を散策していると、いろいろなものを発見することができます。本校の敷地内には、創立117年目の歴史を偲ばせるものがあります。その中のものを少しずつ紹介していきたいと思っています。

今回は、「明治天皇駐蹕之碑」を紹介します。「明治天皇駐蹕之碑」は明治40年11月19日、明治天皇が伊讃野に行幸の折に陸軍大演習が行われ、その際に天皇が座っていたところに記念碑として大正4年に建立されたものです。当時は、清浄な所として教師も生徒も敬礼する習慣があったそうです。この碑は、当時校内のほぼ中心に位置していましたが、昭和47年新校舎建築の際に現在地に移されたそうです。

注釈

ちゅうひつ

駐蹕：天子の行幸の途中一時のりものを止めること。その地に滞在すること。

